

平成30年度 第33回九州地区連絡協議会開催報告

平成30年6月30日（土）、台風7号が接近する沖縄県那覇市において、10年ぶりに第33回麻布大学同窓会九州地区連絡協議会（九州ブロック総会）が開催されました。

今回は週明けの業務への影響を危惧された佐賀県支部が欠席されましたが、それ以外の各県支部会員は帰路の欠航を心配しつつもなんとか沖縄に参集しました。

開会に先立ちまして、各県支部会員の物故者を偲んで黙祷を捧げました。続いて、長友士郎会長（宮崎県支部長 昭和36年卒）から開会の挨拶があり、九連協議会のあり方や、代議員会での協議内容等の紹介があった後、ご来賓の福山同窓会長、川上学長代理（学園理事）から、それぞれ大学の近況を含めたご挨拶をいただきました。議事については、決算、予算に続き、鹿児島県支部から提案のありました各県支部の活動状況、さらには、同窓会父母会や大学入学卒のあり方について時間いっぱいまで熱心な協議があり、続いて熱い語らいの懇親会へとなだれ込みました。

福山会長のあいさつと乾杯の音頭で宴の始まりです。オリオンビールと泡盛を片手に、おいしい料理を囲みながら、台風が迫っていることも忘れ、それぞれの近況や、大学や同窓会のあり方について世代を超えて思いの丈をぶつけ合うことができ、とても有意義で貴重な時間でした。締めは、開催県の工藤沖縄県副支部長（昭和62年卒）の台風をも飛ばすくらいの力強い万歳三唱の音頭で来年度開催予定の佐賀県での再会を約束しました。

宮崎県支部 坂元 和樹（平成5年卒業）

